

事業番号												0093 - 03			
平成 2 9 年度セグメントシート (国立研究開発法人国立国際医療研究センター)															
セグメント名		教育研修事業				担当部局庁		医政局			作成責任者				
事業開始年度		平成 2 2 年度		事業終了 (予定) 年度	終了予定なし		担当課室		医療経営支援課			課長：佐藤 美幸			
会計区分		一般会計													
セグメント単位の考え方		高度専門医療に関する研究等を行う独立行政法人に関する法律に定められている業務内容に基づき、区分。													
根拠法令 (具体的な条項も記載)		独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条第1項				関係する計画、通知等		-							
主要政策・施策		-				主要経費		社会保障							
事業目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国立研究開発法人国立国際医療研究センターが行う業務(感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするものに係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等)にかかる経費の一部に充てることにより、同センターの業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。													
事業概要 (5行程度以内。別添可)		感染症その他の医療に対する研究・医療の専門家(看護師、薬剤師等のコメディカル部門も含む。)の育成を積極的に行う事業。													
実施方法		交付													
予算額・執行額 (単位:百万円)				26年度		27年度		28年度		29年度		30年度要求			
		経常収益		予算額：運営費交付金		6,317		5,732		5,779		5,815		5,823	
				執行額		運営費交付金		1,752		591		494			
						補助金等		0		0		0			
						その他		89		98		100			
						計		1,841		689		594			
				運営費交付金収益の割合		95.2%		85.8%		83.2%					
				運営費交付金収益化基準		業務達成基準		業務達成基準		業務達成基準		業務達成基準			
		経常費用		予算額		2,795		2,687		1,559		1,431		1,431	
				執行額		2,665		1,620		1,461					
執行率				95%		60%		94%							
(単位:百万円)	平成29・30年度予算内訳	歳出予算目		29年度当初予算		30年度要求		主な増減理由							
		国立研究開発法人国立国際医療研究センター運営費交付金の内数		5,815		5,823		人件費の増							
		計		5,815		5,823									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		-		-		成果実績	-	-	-	-					
						目標値	-	-	-	-					
						達成度	%	-	-	-					
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		-													
定量的な成果	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由						定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績							
		国立国際医療研究センターは、感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするもの(以下「感染症その他の疾患」という。)に係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、感染症その他の疾患に関する高度かつ専門的な医療、医療に係る国際協力等の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としており、これに対する定量的な目標を設定することは困難である。						国立国際医療研究センターは、感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするもの(以下「感染症その他の疾患」という。)に係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、感染症その他の疾患に関する高度かつ専門的な医療、医療に係る国際協力等の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目標とし、26～28年度において適切に実施されている。							

事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
								－	年度	32	年度
	国立国際医療研究センターは、感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするもの（以下「感染症その他の疾患」という。）に係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等の適正な実施	国立国際医療研究センターが行う業務に関する独立行政法人通則法に基づく業務実績の評価 ※ 上記の指標は、中（長）期計画に示した国立国際医療研究センターが行う業務について、個別の業務ごとに適正に実施されているかを「S」～「D」の5段階で評価したものであるから、これを具体的な数値として目標値にすることは困難である。	実績	－	A	B	－	－		－	
			目標値	－	B以上	B以上	B以上	－		総合評定B以上	
		達成度		%	S: 全体として中（長）期計画における所期の目標を量的及び質的に上回る顕著な成果が得られていると認められる。 A: 全体として中（長）期計画における所期の目標を上回る成果が得られていると認められる。 B: 全体としておおむね中（長）期計画における所期の目標を達成していると認められる。 C: 全体として中（長）期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する。 D: 全体として中（長）期計画における所期の目標を下回っており、業務の廃止を含めた抜本的な改善を求める ※個別項目の評定等を総合的に勘案した総合評定による評価			－		－	
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		30年度活動見込	
	治験受入件数（製造販売後臨床試験を含む）		活動実績	件	80	67	70	－		－	
			当初見込み	件	121	80	67	前年度以上		前年度以上	
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		30年度活動見込	
	発表論文数（掲載に専門家の審査が必要となる国際的に評価される専門的学術雑誌に掲載された学術論文）		活動実績	件	322	334	331	－		－	
			当初見込み	件	238	322	334	前年度以上		前年度以上	
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		30年度活動見込	
	研修会受入人数		活動実績	人	4,724	4,886	5,058	－		－	
			当初見込み	人	3,260	4,724	4,886	前年度以上		前年度以上	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	単位当たりコスト＝X／Y X: 当該年度執行額 Y: 当該施設数		単位当たりコスト	百万円	6,317	5,732	5,779	5,815			
			計算式	X/Y	6,317/1	5,732/1	5,779/1	5,815/1			
独法等所管部局による点検・改善											
	項 目				評 価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	国立国際医療研究センターが実施する研究は、他の研究者が実施しない又はできない研究（①国民の健康に重大な影響のある疾患のうち、国として早急又は積極的に対応する必要があるという判断した研究②難治性・希少性の疾患に関する研究③中長期に渡って継続的に実施する必要のある疫学的なコホート研究や、専門領域における相当数の症例の積み重ねにより明らかとなった新たな科学的知見を踏まえ、治療指針（ガイドライン等）を作成・改訂するための研究等、その成果の普及及び政策の提言につながる研究）を通じ、国との密接な連携の下、我が国の政策課題となっている感染症等国際的な調査研究が必要な疾病に対する高度専門的な医療の開発及び確立、人材育成等を行っていることから、国が実施すべき事業であり、事業の優先度も高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	同上					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	同上					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				△	毎年、「独立行政法人の契約状況の点検・見直し」のフォローアップを行い、契約方法の検証をしていることが確認できているため、妥当と考える。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				有						
	競争性のない随意契約となったものはないか。				有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	－					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	一定の成果・実績を上げているため、妥当と考える。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				○	独立行政法人評価委員会（高度専門医療研究部会）の評価を行っており、適正であると考ええる。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				-	－					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	医薬品や消耗品の共同入札の実施などコスト削減に取り組んでいる。						

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものになっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	主に研究・開発等に活用しているが、その結果、英文論文を発表するなど、十分、活用されている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		○	「事業番号97:国立研究開発法人国立国際医療研究センター施設整備費」・・・施設整備費は建物等の整備を行うための費用であり、研究・臨床基盤経費等の費用である運営費交付金とは重複しない。 「事業番号103:国立研究開発法人国立国際医療研究センター設備整備費補助金」・・・設備整備費は医療機器等の整備を行うための費用であり、研究・臨床基盤経費等の費用である運営費交付金とは重複しない。				
	所管府省名	事業番号	事業名					
	厚生労働省	0097	国立研究開発法人国立国際医療研究センター施設整備費					
	厚生労働省	0103	国立研究開発法人国立国際医療研究センター設備整備費補助金					
点検・改善結果	点検結果	成果実績や活動実績で一定の成果を上げており、また、上記のとおり、点検したところ、現段階では特段問題はないものとする。						
	改善の方向性	現段階では特段問題がないため、今後も成果実績や活動実績も踏まえながら、適切な運営に努めていく。						
備考								
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する） （単位：百万円）	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。							
	厚生労働省 494百万円 ↓ 【運営費交付金交付】 ↓ A. 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 494百万円 （国立国際医療研究センターの運営に必要な経費の一部） ↓ 【一般競争契約（最低価格）】 B.東京電力エナジーパートナー（株） 28百万円 （電気料） ← → 【一般競争契約（最低価格）】 G.東京ガス（株） 5百万円 （ガス料） 【その他】 C. 東京労働局 15百万円 （労働保険料） ← → 【随意契約（その他）】 H.日本空調サービス 5百万円 （清掃費用） 【随意契約（その他）】 D.タカラビルメン（株） 11百万円 （清掃・警備等費用） ← → 【その他】 I.厚生労働省第二共済組合本部 4百万円 （共済組合負担金） 【その他】 E.東京都水道局 9百万円 （水道料） ← → 【随意契約（その他）】 J.日本衛生（株） 2百万円 （職員派遣経費） 【一般競争契約（最低価格）】 F.（株）システム情報パートナー 7百万円 （機器等保守管理経費） ← → 【その他】 K.厚生労働省第二共済組合 関東信越ブロック事務所支部 2百万円 （共済組合負担金） <tr><td colspan="4">※上記の他に、主たる使途である費用項目は以下のとおりである。 ・人件費等 ……406百万円</td></tr>				※上記の他に、主たる使途である費用項目は以下のとおりである。 ・人件費等 ……406百万円			
	※上記の他に、主たる使途である費用項目は以下のとおりである。 ・人件費等 ……406百万円							

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックごと に最大の金額が支 出されている者 について記載する。 費目と使途の双方 で実情が分かるよ うに記載）	A.国立研究開発法人 国立国際医療研究センター			B.東京電力エナジーパートナー（株）		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
	交付金	運営費	494	電気料	電気料金	28
	計		494	計		28
	C.東京労働局			D.タカラビルメン（株）		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
	人件費	労働保険料	15	庁舎管理経費	清掃・警備等の庁舎管理経費	11
	計		15	計		11
	E.東京都水道局			F.（株）システム情報パートナー		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
	水道料	水道料金	9	教育研修機器 保守経費	教育研修機器の保守・メンテナンス経費等	7
	計		9	計		7
	G.東京ガス（株）			H.日本空調サービス（株）		
	費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
	ガス料	ガス料金	5	庁舎管理経費	清掃等の庁舎管理経費	5
	計		5	計		5
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック ☒

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	8011105004456	教育研修事業	494	運営費交付金 交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	東京電力エナジーパートナー（株）	8010001166930	電気料金	28	一般競争契約 （最低価格）	4	-	

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	契約方式等	入札者数 （応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 （支出額10億円以上）
1	東京労働局	-	労働保険料の支出	15	その他		-	

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	タカラビルメン(株)	9050001025289	建物総合管理業務	10	随意契約 (その他)	1	-	
2	(支出額 11百万円)	9050001025289	節水器具賃借	0.3	随意契約 (企画競争)	1	-	
3		9050001025289	営繕業務	0.1	随意契約 (その他)	3	-	

E

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京都水道局	-	水道料金	9	その他		-	

F

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)システム情報パートナー	9011501013415	教育研修ネットワークの保守・メンテナンス経費等	6	一般競争契約 (最低価格)	5	-	
2	(支出額 7百万円)	9011501013415	教育研修ネットワークの保守・メンテナンス経費等	0.4	一般競争契約 (最低価格)	2	-	

G

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東京ガス(株)	6010401020516	ガス料金	5	一般競争契約 (最低価格)	1	-	

H

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率		一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本空調サービス (株)	6180001002699	建築総合設備保守管理業務	5	随意契約 (その他)	2	-		
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	☒	

注1 支出先1者につき複数契約が行われている場合は、契約金額の大きい上位3契約を記載。
注2 落札率については、他の契約の予定価格を類推されるおそれがあり、また、センターの事務若しくは事業に支障が生じるおそれがあるため、国立研究開発法人国立国際医療研究センター契約事務取扱細則第42条に基づいて公表しない。

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	I.厚生労働省第二共済組合本部			J.日本衛生(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	共済組合負担金(長期、児童手当拠出金)	4	庁舎管理経費	廃棄物処理等の庁舎管理経費	2
	計		4	計		2
	厚生労働省第二共済組合関東信越ブロック事務所支所			L.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	共済組合負担金(短期等)	2			
	計		2	計		0

I

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	厚生労働省第二共済組合本部	3700150000668	共済組合負担金(長期、児童手当供出金)の支出	4	その他		-	

J

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本衛生(株)	8011801010773	廃棄物処理	2	随意契約 (その他)	2	-	

K

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	厚生労働省第二共済組合関東信越ブロック事務所支部	—	共済組合負担金(短期等)の支出	2	その他		-	